

小美玉市の  
文化・芸術 総合情報誌

# おみた *magazine*

OMITA MAGAZINE

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第176号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室106 TEL. 0299-4844-66  
【企画・取材】みのんば編集部(四季文化館みのりれ内)  
【編集・発行】小美玉市生活文化課 令和5年9月28日発行

小美玉文化情報  
日々発信中!

アピオス  
みのりれ  
コスモス  
X f t  
i g s  
@



### ■ 編集後記

厳しい暑さが続いた8月。イベントが目白押しでした。大学生制作の映画「あのころの記憶」での1980年代のシーン。文通やアイドルに憧れた私の「あのころ」が思い出され、当時の聖子ちゃんや明菜ちゃんの歌を聞きながら、久しぶりにタンスの奥に眠っていた青春を引っ張り出してみたのが今夏の思い出です。(加藤 篤子)

### ■ みのんば編集部

編集長 藤田 佐知子  
記者 遠藤 雅樹、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨビ、保田 孝雄  
カメラマン 赤上 恵、齋藤 友幸  
■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず葉 (つばめ座)



アートと交わる  
わたしがひかる

撮 影：阿部 博英  
モデル：広瀬 和峰さん、広瀬 結菜さん

「まさに住民自治の城。」

神奈川県・横浜市政府所職員  
鬼木和浩さん

シビックプライドを高めている。」

「一人ひとりの“らしさ”を磨く、小美玉文化に勝るもの無し。」

千葉県・鎌ヶ谷市役所職員  
青木 真也さん

Voice 3  
京都府 福知山市  
Fukuchiyama-city



住民と行政が共に事業に取り組んでいる事例として  
みの〜れの存在を知りました。新たに文化ホールを  
建設しようとしている福知山市の住民の一人として、  
住民役を貫く小美玉文化の取り組みを知ることは  
とても重要です。自分事としてホールの魅力を語る  
住民が、どのようにして生まれているのか。その根  
幹とプロセスを学び、活かしていきたいです。

福知山芸術文化振興会  
吉田 佐和子さん

Voice 4  
愛知県 長久手市  
Nagakute-city



みの〜れは住民の皆さんが主体的に企画を考え、動  
かしているのが本当に凄いです。劇団や和太鼓など  
の創造団体から、広報チーム、企画プロデュースす  
るチームなど、多岐に渡って充実していて、対話によ  
って住民同士、住民と館が連携して住民役を貫く  
姿勢は、唯一無二の存在だと感じます。住民一人ひ  
とりが輝けるみの〜れ。目指すべき理想郷です。

長久手市文化の家  
黒野 雅直さん

「住民のモチベーションを上げる仕掛け、暮らしそのものをブランディングする雰囲気。」

表城県：古河市役所職員  
椎名 英治さん

私のまちの文化ホール

アルカスSASEBO



造船と軍港、観光都市として栄える  
佐世保市に2001年開館。約80  
名が在籍するジュニアオーケス  
トラがある。今年度から住民参画型  
事業をスタート。

豊中市立文化芸術センター



大阪国際空港を有する豊中市に  
2017年開館。地域の文化芸術活  
動をつなぐ人材育成として、レジ  
デントアーティストや市民アート  
コーディネーターを育成。

福知山市厚生会館



明智光秀が築き、古くから交通の  
要衝として栄えた城下町、福知山  
市に1962年に開館。老朽化により  
新たな文化ホールの建設が検討  
されている。

長久手市文化の家



小牧・長久手の戦いで有名。ジブ  
リパークがある長久手市に1998  
年開館。館と契約する創造スタッ  
フとアーティスト、市民団体が作  
品を創る創造拠点となっている。

全国から熱視線！

「何でしょう、この胸の熱くなる感覚は。住民からの感謝と愛情が伝わってきた。」

栃木県・栃木市役所職員  
越谷 慎さん



豊中市立文化芸術センター  
井上 周さん

ここまでたくさんの方が主体的に参画し、育ての親  
となっている公共ホールは、全国の中でも他に見た  
ことがありません。みんなで一緒に創り続けている  
から自分事となり、地域から愛されているんですよ。  
小美玉市は、ダイヤモンドシティ小美玉の名のと  
おり、人やまちが輝いて見えます。それは、若者が地  
元に戻ってくる動機と機会を文化ホール3館が生み  
出しているからだと思います。

日々、全国からの訪問者や講演依頼がひっきりなし！  
小美玉の文化ホールの取り組みが人気の理由を、  
全国のホール関係者に伺ってみました！

取材：保田 孝雄、加藤 篤子、福島 ヤヨビ、藤田 佐知子



©中倉社志朗

住民が主体的に企画運営する活動を、みの〜れ誕  
生前から継続していると15年前に知り、いつか佐世  
保でも実践してみたいと心に決めました。多様な年  
齢、職種の皆さんが、さまざまな想いを持って集い、  
プロジェクトを立ち上げ実践していることに感銘を  
受け、アルカスSASEBOも今年から実践し始めまし  
た。2年後の開館25周年には、みの〜れのような物  
語を住民主体で描いていきたいです。

アルカス SASEBO  
古賀 沙矢香さん



Voice 2  
大阪府 豊中市  
Toyonaka-city



特集  
小美玉市の  
どこのなにか？  
すごいのか？

住民主体の文化ホールの魅力に迫る

2022年度は  
視察・講演依頼が  
32回も！

特集・茨城大学生が感じたこと

# 大学生が 住民主役の 文化ホールを 体験

学生が職場で働く経験をする「インターンシップ」。みの〜れに「地域活性化」「まちづくり人材育成」を学びにくる学生が増えています。  
※毎年7〜9月にイベントに合わせて募集予定



▲学生執筆記事

インターンを体験したイベントは…

01:ば〜どのもりのめいんかーにばる

▶2023 8/6 (sun) in 四季文化館 みの〜れ

&

02:みの〜れ演劇ワークショップ  
成果発表

▶2023 8/6 (sun) in 四季文化館 みの〜れ

自分が絵本の登場人物に！  
幻想的な演出の感激

観客が鳥の羽根を模した衣装を身につけたり、顔にペイントしたりして仮装し、全員で森の中をパレードして、まるで自分が絵本の登場人物になったかのような幻想的な雰囲気に包まれた企画に感激しました。

茨城大学生  
児玉 和穂



熱意が伝播し、  
呼応する人を生み出していく

プロジェクトを進める住民の熱意が伝播し、呼応する住民と館職員の姿を目にしました。こうした体制を整えているみの〜れの存在が「まちが好きだ」という気持ちを育てていることを感じました。

茨城大学生  
福家 さゆり



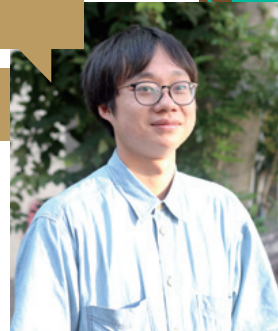
VOICE  
01



みの〜れ出身のプロが  
指導するという理想的なかたち

演劇本番前日と当日取材。たった1日でも明らかな成長が感じられ、驚きました。専門家から受ける影響は大きいので、みの〜れ出身の俳優・演出家の廣木さんが指導していることが理想的だと感じました。

茨城大学生  
渡 龍大

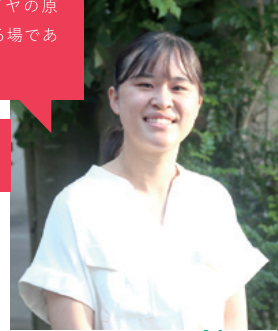


VOICE  
04

みの〜れはダイヤモンドの原石を  
見つけ、磨き、光をあてる場

住民が主体となり、市を活性化している姿は、小美玉市が掲げる「ダイヤモンドシティ」そのものだと思います。これからも、みの〜れがダイヤモンドの原石を見つけ、磨き、光をあてる場であって欲しいです。

茨城大学生  
富田 千裕



VOICE  
03



茨城大学  
西野 由希子教授

「みの〜れ」ファンの学生たち、市民のみなさんを中心に企画・運営されている現場を体験させていただいて「対話の文化」への理解が深まりました。次の学年にもこのつながりを継続させたいです。



CULTURE REPORT

2023年7月16日 / みの〜れ  
美野里中学校演劇部公演

「森のホールを観客で埋めつくす」それが美野里中学校演劇部の実力です。3ヶ月の稽古で臨んだ3年生の卒業公演。その演目は不思議の国のアリスをモチーフにしたお話で、台詞が長く難しい作品。大道具はもちろん照明や音響まで部員たちでこなす、まさに演劇部一体となって作り上げた舞台でした。みの〜れの舞台上で演じた経験は、一生の宝物になることでしょう。(遠藤 雅樹)



2023年8月13日 / みの〜れ  
あのころの記憶

市内で育った大学生4人が制作した映画「あのころ」が、昨年の渋谷短編映画祭にノミネート。今回はさらに同級生が加わって続編となる長編映画『あのころの記憶』を撮りおろし、二つの映画作品に舞台上での芝居や歌・踊りを添えた上映公演を開催。「二度と戻らない今を大切に過ごしたい」という作品の切ないテーマは、子どもから大人まで幅広い世代の観客の胸に響きました。(瀧澤 比佐乃)



2023年8月20日 / みの〜れ  
みの〜れ夏休み劇場探検ツアー

小学生を対象に親子40人が参加。ツアーの案内役は美野里中演劇部とみの〜れ支援隊公演スタッフ。世界最高級のグランドピアノ「スタインウェイ」を弾いたり、照明の調光卓やピンスポットを操作すると、子どもたちからは「細かい階段を登るときワクワクした」「ピンスポットを操作したら『上手だね』と褒めてもらえて嬉しかった」と喜びの声が聞こえてきました。(藤田 佐知子)



2023年8月6日 / みの〜れ  
ばーどのもりのめいんカーにばる

BIRDのぬり絵や光るたまごぬり絵、美野里中美術部によるワークショップ、劇団Myuによるフェイスペイントなど数多くの体験が用意され、どこから参加しようか嬉しいような親子連れでいっぱいでした。夜はホワイエに吊った巨大スクリーンにオリジナル絵本の絵を映して劇と歌とダンスを織り交ぜた音楽絵本の上演から野外パレード。音楽隊に続いてみんなで行進して大喜びでした。(福島 ヤヨビ)



2023年8月20日 / アピオス  
APIOS DANCE STADIUM

ホールでは多彩なダンスが上演され、屋外には多彩な飲食店が立ち並び、アピオスの名前の由来のように、仕事も年齢も住む場所もさまざまなたちが出会い結ばれ、熱気に包まれました。観客投票を含めた審査の結果、SUN AMBITIOUS(サンアンビシャス)がグランプリを受賞。チームのキャッチフレーズ「楽しいから好きになる。好きだから上手くなる」が実った日となりました。(保田 孝雄)



2023年8月26日 / みの〜れ  
美野里中学校吹奏楽部定期演奏会

3年生の集大成。オープニングは、コンクールの演奏曲やソステージ。2部は1年生がダンスで参加したポップスやジャズ。3部は卒業生も参加した迫力ある演奏と、多彩な演出で心に響く素晴らしいステージでした。部長の小島純哉さんは「つらい時も先生や部員が支えてくれました。これからも吹奏楽部をよろしくお願いします」と感謝の気持ちと後輩たちにエールを送っていました。(加藤 篤子)



INFORMATION

茨城県芸術祭  
いばらきビッグバンドジャズフェスティバル



- 日時 12/3(日)11:00
- 会場 みの〜れ森のホール
- 金額 入場無料(全席自由)
- 入場整理券なし。当日先着順

小学生から社会人ビッグバンドまでが集結!かたちや名前を替えながらも、みの〜れでの開催が20回目を迎える。※コロナ禍のため昨年実施した入場整理券による入場制限は、今年は無し(当日先着順)

■問い合わせ / 0299-48-4466 (みの〜れ)

光と風のステージCue vol.71  
マリンパデュオ Ms.Mallets Winter Concert



- 日時 12/16(土)19:00
- 会場 みの〜れ風のホール
- 金額 1,000円(1ドリンク付)
- 出演 倉田沙紀、高野 綾

茨城県出身のマリンパデュオ。共に国内外での豊富な実績を持ち、異ジャンルとのコラボレーションも多数。演奏予定曲目は、イタリアンコンチェルト、クリスマスメドレーなど。

■発売開始 10月15日(日)10:00~/0299-48-4466(みの〜れ)

アピオス小劇場 vol.47 およこDEジャズ



- 日時 12/16(土),17(日)
- 会場 アピオス大ホール
- 金額 無料(要整理券)
- 全席自由

“魔法のトンネル”をくぐったら、体が小さくなってムシの世界に迷い込んだ!ムシたちと一緒にクリスマス気分を味わっちゃおう!0歳から入場OK!(両日ともに11:00/14:00の2回公演)

■申込開始 11月11日(土)10:00~/0299-58-0921(アピオス)

みの〜れ住民劇団Myu  
新作オリジナル作品 ボクの明日は30年後



- 日時 2/10(土)①13時②18時  
2/11(日)③11時④16時  
2/12(祝)⑤13時
- 会場 みの〜れ特設小劇場
- 金額 1,000円(全席指定)

突然倒れた夫が冷死睡眠に。30年後、眠りから覚めた30歳のままの夫と、待ち続けた60歳の妻の未来は…。バレンタイン前夜、ハートフルなヒューマンラブストーリー。

■発売開始 12月2日(土)10:00~/0299-48-4466 (みの〜れ)

2023年 10～12月のイベント pick up

※このスケジュールは2023年9月2日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
10月29日(日)	けん玉ワークショップ	13:30	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	300円(要申込)
11月3日(金)～11月5日(日)	第18回小美玉市民文化祭	9:00～15:00	アピオスみの〜れコスモス	アピオス 0299-58-0921 みの〜れ 0299-48-4466 コスモス 0299-26-9111	無料
12月2日(土)	アピオスクリスマスフェスティバル	17:00	アピオス	アピオス 0299-58-0921	無料
12月3日(日)	令和5年度茨城県芸術祭 いばらきビッグバンドジャズフェスティバル	11:00	みの〜れ森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
12月9日(土)	コスモス30歳記念イベント C.C.C コスモス20歳コース隊10周年記念コンサート	14:00	コスモス展示ホール	コスモス 0299-26-9111	無料
12月16日(土) 12月17日(日)	アピオス小劇場 vol.47 およこDEジャズ	11:00 14:00	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	無料(要整理券)
12月16日(土)	光と風のステージCue vol.71 「Marimba Duo Ms.Mallets Winter Concert」	19:00	みの〜れ風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	1,000円(1ドリンク付)